

沖縄基地問題を考える講演と対談

沖縄国際大学・大学院教授 前・琉球新報論説委員長

前泊博盛さん講演会

第1部

戦後再発見
双書

日米地位協定 入門



原簿再編、不況下の大増税、
オスプレイ強行配備、TPP参加、憲法改正……
日本はなぜ、こんな国になつてしまつたのか？
「戦後日本」最大の闇に迫る！

前泊博盛 編著 前元社

本当は憲法より大切な

本書「はじめに」から……
前泊 博盛
私は沖縄の宮古島で生まれ、沖縄本島の那覇市で育ちました。大学は東京に行きましたが、卒業後はまた沖縄にもどり、琉球新報という新聞社で二七年間、記者をやっていました。
二〇一一年からは沖縄国際大学という、米軍のヘリが落ちた事ですっかり有名になつてしまつた大学に移りましたが、いまでも物ごとの見方や情報のとり方、生きるうえで基本的な姿勢は、新聞記者時代とほとんど変わりません。
沖縄で新聞記者として生きるということは、多かれ少なかれ、つねに日米安保や米軍基地のことを意識して生きるということです。そうした日々のなか、本書を読んでいただければわかるように、私自身、米軍基地問題に関してはかなり過激な取材や報道をして、ギリギリのところまで肉薄してきたつもりです。
でも……続きは本書と講演を……

第2部 金子勝さん 対談 前泊博盛さん

とき：2013年 11月9日(土) 午後2時～5時

ところ：愛知大学記念会館 3階 小講堂

参加費：1000円 (千ヶツあります)

障がい者 500円・高校生以下は無料

テーマ：「沖縄に基地は必要か？」

～米軍と日米地位協定～

講演と対談

主催 愛知大学九条の会・金子勝「憲法講座」実行委員会

連絡先： 垣内暎恵 (0532) 64-3363 杉浦雄司 (0532) 62-0016 保木井秀雄 (0532) 62-069

◆ 講師プロフィール・賛同団体・賛同者・会場アクセスは裏面をご参照ください ◆



前泊 博盛(まえどまり ひろもり) さん

1960年生まれ。駒大法学部、明大大学院卒(経済学修士)。84年、琉球新報社入社。文化部、社会部、東京報道部、政経部などの記者を経て98年から編集委員。冲国大非常勤講師～2001年兼任)。2001年、九大大学院助教授(国際政治学)。その後、編集委員・論説委員、編集局次長、経営企画局次長、論説副委員長、紙面審査委員長、2010年6月に論説委員長。2011年3月琉球新報社を退社し、同年4月から沖縄国際大学・大学院教授(現職)。著書『子供たちの赤信号～学校保健室はいま』(沖縄出版)『もっと知りたい!本当の沖縄』(岩波書店)『検証「沖縄問題」』(共著、東洋経済新報社)『沖縄「自立」への道を求めて』(共著、高文研)『沖縄と米軍基地』(角川新書)、『入門日米地位協定』(創元社)『沖縄の真実』(共著、学研パブリッシング)『終わらないく占領』(共著、法律文化社)ほか多数



金子 勝(かねこ まさる) さん

1944年名古屋市生まれ。1968年愛知大学大学院法学研究科専攻修了。専門は憲法学、政治学、社会科学概論。現在、立正大学法学部教授。愛知大学時代に日本国憲法の礎である「憲法草案要綱」を作成した鈴木安蔵に師事。鈴木の後志を継いで「憲法九条」を守る護憲平和運動を日本全国に展開している。著書『社会科学の構造』(勁草書房)『日本国憲法の原理と「国家改造構想」』(勁草書房)『社会科学の世界』(勁草書房)『憲法?』(金子勝・木村康子共著)本の泉社『憲法の論理と安保の論理』(勁草書房)

賛同団体 50音順 愛知県高等学校教職員組合東三河支部、「学校に競争主義はいらない」東三河教員・市民の会、九条の会(愛知大学・渥美半島・新城奥三河・すこやか・とよかわ)東三河革新懇豊橋の会、コープあいち、国民救援会東三河支部、週刊金曜日東三河読者会、新日本婦人の会(豊橋・豊川)、豊川市職員労働組合、田原市原水協、田原市平和委員会、豊橋演劇鑑賞会、豊橋空襲を語りつぐ会、豊橋地域原水協、豊橋市職員労働組合、豊橋平和和市民展、豊橋民主商工会、鳥居先生の公害災害認定を求める会、年金者組合豊橋・田原支部、浜岡原発の危険性を考える会、東三河労働組合総連合、三河健生会

賛同者 50音順 市野和夫(設楽ダム建設反対・代表)梅村直子(元教師)、垣内伸彦(愛知大学名誉教授)、鈴木みさ子(豊橋情報公開事務局)、高木陽子(元豊川母親大会実行委員長)高木三郎(とよかわ九条の会共同代表)伊達勲(元市議会議員)、戸田英夫(元中部電力)、長屋誠(弁護士)、

会
ア
ク
セ
ス
場

[徒歩] 新豊橋駅から「渥美線」で「愛知大学前駅」下車。副門より会場まで5分。
[乗用車] 駐車場あり。入口は259号線「正門」から。(時習館高校の斜め前)